



2012年“平和—絆でつなぐ地球—” 日本語サミット(第14回) ニッポン代表パネリスト募集！！

特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム 企画主催

●日本語サミットとは？ ～日本語から、人を育み、平和を育む。～

ジャパン・リターン・プログラム（JRP）は、毎年、世界の日本語を修得している青少年をパネリストとして選抜・招聘する「日本語サミット」を開催しております。35日間のプログラム期間中、日本の高校生・大学生との意見交換や、ホームステイ、日本の伝統文化体験等のプログラムのほか、今、自分たちが平和のためにできることを、「日本語」で意見発信し、パネルディスカッションをします。

現在、各国のパネリストとともに、世界へ向けてメッセージを発信していただける、日本在住の高校生・大学（院）生、留学生（15歳～27歳）を募集しております。

【ニッポン代表】として世界の同世代の若者と35日間共にしながら、「日本語」で今の国際情勢や平和について語り合いたい！という意欲のある学生の皆さま、ぜひ、ご応募をお待ちしております！



2010年日本語サミットパネリスト 13名



上：2003年ニッポン代表オールドパネリスト(OP)が2010年パネリストにスピーチ原稿のアドバイスをしている様子

I. 2012年日本語サミット（予定）

- ◆ 期間：2012年7月中旬～8月下旬（35日間）
- ◆ 開催場所：東京・地方1か所

※日程詳細は、2012年1月末パネリスト決定後に発表(予定)。
日程は事情により変わることがあります。



左：2010年 東京日本語サミット
@日経ホール
コーディネーター/池上 彰氏

II. 募集対象者

- ◆ 日本在住の高校生・大学生、または留学生。
- ◆ 国籍は問いません。
- ◆ 日本語サミットの趣旨・開催目的を理解し、ニッポン代表パネリストとして、日本語で意見の発信ができる者。



2010年 福岡日本語サミット
@エルガーラホール（福岡・天神）

<応募資格>

【ジュニアの部】：

- ① 高校・大学在学者（学籍はプログラム参加時点）
- ② 年齢15才～19才（2012年6月30日時点で15才～19才までの男女）
- ③ 留学生の場合、規定の作文課題を漢字かな混じり文にて書くことができ、且つそれを議論できる口頭能力を有する者（日本語能力試験3級レベルが目安）
- ④ 上記日程全てに参加できる者（自己都合での変更はできません。開催日程変更の可能性もあるため、日程の前後に余裕を持たせること）
- ⑤ サミット期間中、使用できる言語は、日本語のため、日本語で会話し、日誌を書くことができる者、またその体力・精神力のある者
- ⑥ 「日本語ブラッシュアップ、及び日本へのより深い理解」という本プログラムの目的を理解し、規則を遵守できる者
- ⑦ 参加終了後も「オールドパネリスト(OP)」としてJRPネットワーク構築に寄与できる者
- ⑧ ニッポン代表としての品位を保ち、姿勢・行動ともに優れている者

【シニアの部】：

- ① 大学・大学院在籍者（学籍はプログラム参加時点）
- ② 年齢20才～27才（2012年6月30日時点で27才までの男女）
- ③～⑧はジュニアの部と共通

Ⅲ. 参加費用【ジュニア・シニアの部とも共通】

◆ 以下の参加費用は J R P 負担

- [1] サミット開催地までの国内線往復航空運賃費用
- [2] 当法人作成スケジュール内の国内線航空費用
- [3] 公式日程中の参加経費・滞在ホームステイ費用（朝夕食含む）

◆ 自己負担費用

- [1] 自宅から国内線発着空港（事務局指定）までの往復地上交通費
- [2] 全参加者、参加費用 3 万円（来日時空港にて徴収）、その他に自由日程時諸費用・昼食代・通院治療費・国際電話代・ホームステイ先から日程会場までの交通費（往復 7 0 0 円を超える場合は、差額分を補助します※ただし、地方でのホストファミリー滞在中の交通費に限る）、写真現像代等の費用として 3～5 万円程度、お土産など買いたい場合はそれ以上にかかるので余裕をもってくること
- [3] 旅行保険（疾病・事故全般に対応するもの）は自国で事前に自己負担でかけておく（病気／事故は基本的に自己責任においての管理が求められます）

Ⅳ. 応募課題と締め切り * 応募の有無はできるだけ事前に事務局に知らせてください。

【ジュニアの部】

1. 一次選考課題と提出物：一次選考締め切り日：2011 年 10 月 31 日（月）事務局郵送必着

① “平和一絆でつなぐ地球” というテーマで書いた日本語による【自筆】作文

- ◆ 字数は 400 字詰め原稿用紙 4 枚程度（1600 字～2000 字）とすること。
- ◆ 自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。
- ◆ 引用をする場合には出典を明記すること。
- ◆ 参考文献がある場合も、提示すること。

② JRP 指定の応募用紙（事務局に問い合わせるか、JRP のホームページからダウンロードできます。自筆で記入すること。）

③ 自己紹介文（400 字程度・自筆）

④ 写真：証明写真 3 枚（縦 5 cm×横 4 cm）と家族全員の写真 1 枚、友人との写真など生活の様子が分かるもの 2 枚（裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと。）

※①と②は F A X にて事前に送付すること

2. 二次選考：電話インタビュー、または面接等

3. 2012 年 1 月末にパネリスト発表予定

【シニアの部】

1. 一次選考課題と提出物：一次選考締め切り日：2011 年 10 月 31 日（月）事務局郵送必着

① “平和一絆でつなぐ地球” というテーマで書いた日本語による【自筆】作文

- ◆ 字数は 400 字詰め原稿用紙 5 枚程度（2000 字～2400 字）とすること。
- ◆ 自分の体験をもとに、自分の意見を具体的に書くこと。
- ◆ 引用をする場合には出典を明記すること。
- ◆ 参考文献がある場合も、提示すること。

② JRP 指定の応募用紙（事務局に問い合わせるか、JRP のホームページからダウンロードできます。自筆で記入すること。）

③ 自己紹介文（400 字程度・自筆）

④ 写真：証明写真 3 枚（縦 5 cm×横 4 cm）と家族全員の写真 1 枚、友人との写真など生活の様子が分かるもの 2 枚（裏に誰とどのようなときに撮影されたのかを記述のこと。）

※①と②は F A X にて事前に送付すること

2. 二次選考：電話インタビュー、または面接等

3. 2012 年 1 月末にパネリスト発表予定

V. 応募に際しての注意事項

- ◆ 日本語サミットと同時期に日本で行われる招聘プログラムに重複しての応募をしている方はご遠慮ください。
- ◆ 友人や教師に作文指導を受けたときは、正直に申告してください。
- ◆ 「応募作文は必ず自分の考えを自分の力で書く」という約束が守られなかった場合は、招待にかかる費用全額が請求されます。
- ◆ 滞在中は、日本の政財界リーダーとの面会や国会議員との懇談会、マスコミの取材などが予定されますので、ニッポン代表としてふさわしいマナーや行動が要求されます。表敬訪問・日本伝統文化体験ではフォーマルな服装が必要です。
- ◆ 日程など随時変更する可能性がありますので、必ずホームページで確認してください。
- ◆ 参加するための経済的負担があることをご承知おきください。
- ◆ 応募に際し、提出された書類は日本語サミットの募集以外に一切使用いたしません。

- 共催：日本経済新聞社
- 後援(予定)：外務省・文化庁・国際協力機構(JICA)・日本放送協会(NHK)・東京都

<主催・お問い合わせ先> 特定非営利活動法人ジャパン・リターン・プログラム (JRP) 事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8 赤坂二丁目アネックス 4F
Tel : 81-3-3589-3587 Fax : 81-3-3589-3573
E-mail : jrp@bna.co.jp <http://www.nihongo.or.jp/>